

黒石市長

高 樋 憲 様

平成 31 年度

黒石市に対する要望事項

黒石商工会議所

# 平成 31 年度黒石市に対する要望

## ◆「福祉」

### 1. くろいし健康マイレージの継続について（新規）

黒石市による「健康都市宣言」（H27.2.21）に伴い、生活文化商業部会では平成 28 年度より「くろいし健康マイレージ」の周知及びポイント利用のできる協賛店を募集するサポート等を行っております。当所発行の「商工くろいし」及び地元の新聞社にも記事として取り上げられており、少しずつではありますが当所の会員企業等にも周知がなされております。また、定期健康診断及びガン検診等の受診率も年々向上しているように感じられます。青森県は 47 都道府県で男女ともに、平成 29 年まで 9 年連続短命県ナンバー 1 という不名誉な記録を更新中であります。県内でも特に黒石市が属する中南地域のガンの死亡率が高いというデータもあります。そこで当所会員企業等への健康診断・ガン検診等の受診率の向上並びに健康への意識を高めていくためにも引き続き周知が必要であると考えます。

そして、最終的には黒石市民の医療費の削減・国民健康保険税の減税、平均寿命、健康寿命の向上に繋げていくべきであると考えます。

このことから黒石市の「健康都市宣言」をより効果的なものにし、黒石市民と黒石市に拠点をおく事業者の健康と繁栄を目指していくためにも「くろいし健康マイレージ」を継続事業とし、市民の健康意識向上のために更なる予算措置を施していただくことを要望します。

### 2. 防災士養成講習会の助成制度の創設について（新規）

我が国は世界的に見ても自然災害の多い地域です。平成を振り返ると、阪神・淡路大震災、東日本大震災などの震災のほか、台風や大雨などの自然災害が全国各地で発生しています。NPO 法人日本防災士会では、減災と社会の防災力向上のための活動として、災害に対する基本的な知識と自らを守るための技術を持った地域住民を育成するために防災士養成講座を各地で開講しており、こうした人材の養成が求められています。

黒石市においても自主防災組織等の確立など地域防災計画に取り組んでいるところだと思います。災害が発生したときには、家庭、職場、地区等において被害が少しでも軽減できるように、また企業においては CSR（企業の社会的責任）活動を可能にする仕組みづくりのために必要なものと考えています。

つきましては、市民と企業、地域の防災力の向上を目指し、一人ひとりのスキルアップを促進するために、防災士養成講座の受講費用に対する助成制度の創設を要望します。

## ◆ 「商工業振興」

### 3. 黒石市制度融資利用条件の緩和について（継続・一部変更）

黒石市制度融資については、当該保証料を市が負担していることで地域事業者の資金繰り円滑化とともに、経営の安定に寄与しています。

しかしながら、青森県信用保証協会弘前支所管轄内（弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村）で、保証料給付の認定要領があり、認定書の交付が必要となっている自治体は黒石市のみです。

本制度融資利用促進のためにも、利用条件の緩和について隣接する他市町村同様、保証料給付の認定基準を保証制度要綱に追加し、認定要領の撤廃を要望します。

### 4. 地域産業振興・雇用拡大につながる事業について（継続）

全国的な少子高齢化による人口減少は黒石市でも進んでおり、比例して中小企業者（雇用者）も減少している。

黒石市では、創業5年未満の創業・起業者への支援として「黒石市創業相談ルーム」を開設し、「黒石市商店街空き店舗対策事業補助金」と併せて支援しています。

相談者も増加傾向で好評であることから、「黒石市創業相談ルーム」並びに「黒石市商店街空き店舗対策事業補助金」の継続と更なる充実を図ることを引き続き要望します。

### 5. 成人式の中心市街地での開催について（継続）

成人式参加者に対して、例年アンケートをとっているとのことですが、これまでどのような設問であったのか、また各年の集計結果を開示してほしい。

近年中心市街地から離れている津軽伝承工芸館で開催していることによって、多くの市民は成人式行事の雰囲気を感じることができずにいます。冬のみせを新成人のスーツ、着物姿で歩く風情がノスタルジックシティ黒石の源なのではないでしょうか。のみせを中心とした町づくりを推進する黒石市の成人式が、新成人にとって故郷と向き合うきっかけになるよう望みます。

中心市街地での開催において人的支援が必要であれば成人式実行委員会を立ち上げ、関係機関に支援を依頼するなどして中心市街地での開催を検討することを再度要望します。

## ◆「都市環境」

### 6. 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について (継続・一部変更)

大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市と結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。

この交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを引き続き要望します。

### 7. 宿泊施設の誘致活動の実施について（継続）

市では黒石市工場等設置奨励条例により、製造業・運送業等の工場を有する企業を対象に固定資産税の課税免除や雇用奨励金給付等を行い企業誘致を促進しているが、市内宿泊施設の数が不十分で来訪者の宿泊需要に対応できていない状況がある。特に市内にはビジネスホテルがなく、来訪者は近隣市町村のホテルを利用することが多い。

宿泊施設を確保することにより、観光客や市内企業を訪れるビジネス客、工事関係者等の集客が見込まれ、宿泊者の消費支出による街の賑わいや雇用の場の創出に繋がると期待されることから、宿泊業を対象とした「優遇税制」や「新規開業支援資金」等の施策を講じて、宿泊施設の企業誘致活動を実施することを引き続き要望します。

### 8. カラス・野良猫対策について（継続・一部変更）

黒石市内の路上が、カラスの糞で汚れている箇所を多く見かけます。黒石市を訪れる観光客はもとより、市民の目から見ても決して良いものではなく、黒石市の景観が損なわれていることが大変残念でならない。

平成28年度「黒石市鳥獣被害防止計画」では、カラスの捕獲計画数が平成29・30・31年度は各100羽となっている。しかしながらカラスの個体数は減少していないように感じている。カラス被害を減らすには地域全体で対策に取り組んで、カラスにエサ場を提供しない地域づくりを進めることも重要であると考えます。また、一部地域の、野良猫による糞・尿の悪臭に周辺住民が困っている。人が猫にひっかかれたり噛まれることによる、感染症等も懸念される。また、症例は少ないが、最悪死亡という報告もある。

そこでカラスに関しては、捕獲数の増加と市民への呼びかけ強化を要望します。また、野良猫に関してはエサを与えない呼びかけを、引き続き広報・HP等で周知していくことを要望します。

## ◆「観光振興」

### 9. 国内外からの観光客に対する受入体制及び誘客の強化について (継続・一部変更)

- ①黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ体制（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えている。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望します。
- ②金平成園は現在、春・夏・秋に公開期間をそれぞれ設定していますが、観光客に対してこみせ通りと並ぶ新たな観光の拠点として提案できるよう可能な限り通年での公開を要望します。
- ③現在、市外から市内への案内は十分なされていますが、一方通行の多い市内の案内が不十分です。また、外国人観光客の増加に対応する英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語などの外国語表示の街路案内板も必要な状況となっています。つきましては市内の一方通行をわかりやすく誘導する街路案内板と外国語表示の街路案内板の充実を要望します。
- ④近年、外国人観光客が増加している中、市内には和式トイレが多く見られます。外国人観光客のみならず高齢の日本人観光客のためにも、公衆トイレの洋式化を要望します。

### 10. 黒石市内の観光地における公衆無料LANの設置について（新規）

現在、黒石市内で観光地などの交流人口の多い場所（屋外）に、広域で公衆無料LANを常設しているところはありませんが、観光客等の利便性を高め、SNS等でどんどん黒石市の魅力を発信して頂く仕組みが必要であると考えます。

つきましては、地域外からの来訪者を増やすためにも黒石市内観光地等交流人口の多い屋外に広域で公衆無料LAN設置を検討して下さるよう要望します。

以上、平成31年度黒石市に対する要望事項として要望いたします。

平成30年11月14日

黒石商工会議所

会 頭 新 岡 常 雄